

神戸2020ビジョン総括報告書 (速報版)

神戸市企画調整局企画課

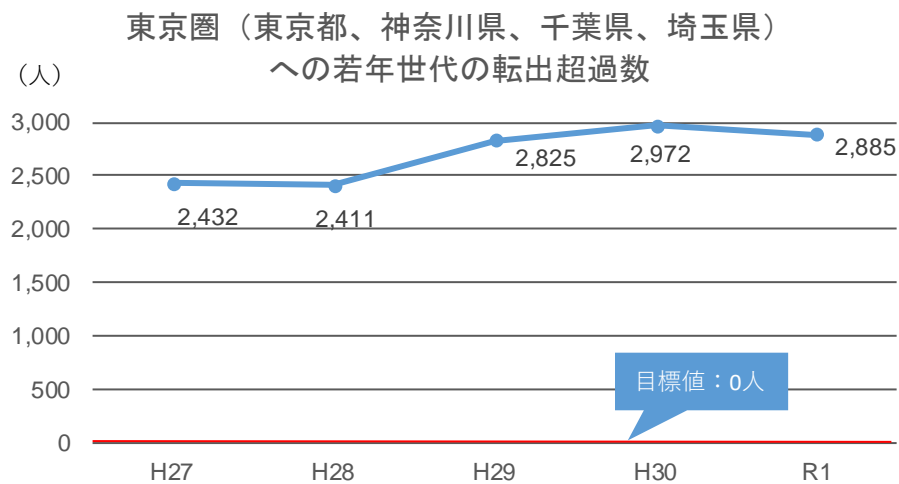
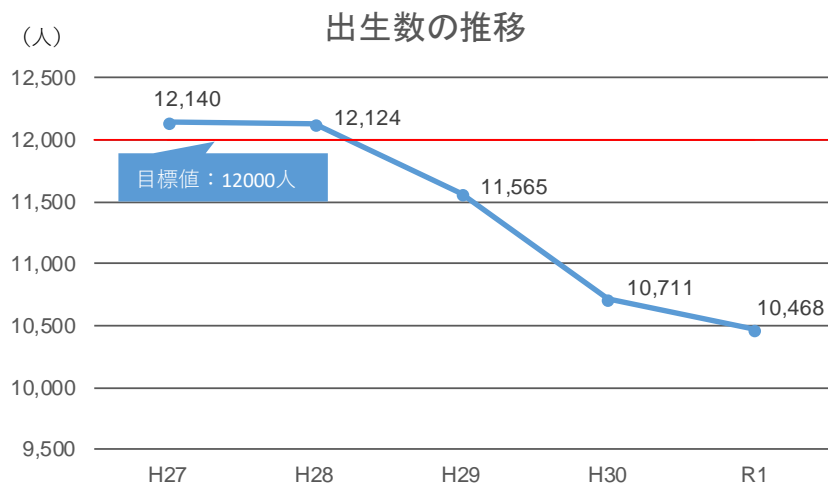
全体目標

全体目標1：年間12,000人の出生数を維持

→20・30歳代の女性が人口構造的に減少しており出生数は減少

全体目標2：若者の神戸市への転入を増やし、 東京圏への転出超過年間2,500人を解消

→毎年2000人台の転出超過が継続



まちの質・くらしの質を示す指標

- ・ 居住環境や、都市イメージを評価する都市ランキングにおいて、神戸市は軒並み国内最上位クラスに位置する。

2019年世界生活環境調査
(QUALITY OF LIVING SURVEY)
都市ランキング

神戸(49位)

東京と並んで国内首位・
アジアで2位(アジア1位はシン
ガポール)

参考

横浜:55位
大阪:58位
名古屋:62位
香港:71位

地域ブランド調査2019
における神戸の順位

国際交流のまち 1位
デザインやセンスの良いまち . . 1位
居注意欲度 1位
認知度 (順位上昇6→5→4→4位)
魅力度 (順位上昇9→7→5→5位)

総評

- ・ 出産可能年齢の女性が人口構造的に減少しており、出生数の維持は厳しい状況。
- ・ 東京圏への転出超過は一定のペースで継続。解消には抜本的な対策が必要。
- ・ 高い都市イメージや、評価の高い生活環境を、若者が働き・住む場所として行動に移してもらえよう活かしていく取組が必要

(資料) マーサー「2019年世界生活環境調査(QUALITY OF LIVING SURVEY) - 都市ランキング」
ブランド総合研究所「地域ブランド調査2019」



1. 若者に魅力的なしごとづくり

主な取組

■ 起業・創業環境の充実

- ・ 500スタートアップス（投資ファンド・起業家育成団体）との連携
- ・ 国連機関であるUNOPSと、グローバル・イノベーション・センター（GIC）を神戸市内に開設する合意書を締結
- ・ 地域・行政課題をスタートアップと市が協働して解決するプロジェクト「アーバンイノベーション神戸」の実施
- ・ アフリカ・ルワンダと連携し、起業体験プログラムの実施

■ 成長産業の誘致や成長を支える基盤整備の推進

- ・ 神戸医療産業都市への企業・研究機関等の誘致
- ・ 「神戸医療産業都市推進機構」の発足
- ・ 広域幹線道路や港湾施設等、成長を支える基盤の整備

■ 次代の基幹産業の育成

- ・ 成長が期待される様々な分野（航空・宇宙産業やICT、水素産業、ロボット、食など）における新事業開発の支援



主なKPI・指標

- ・市内の就業者数は平成24年に比べると増加している。
- ・誘致企業数は5年間で300社以上にのぼり、医療関連企業のほか、様々な企業の集積が進んでいる。

市内就業者数

実績値

(H24)

719,200人

(H29)

760,200人

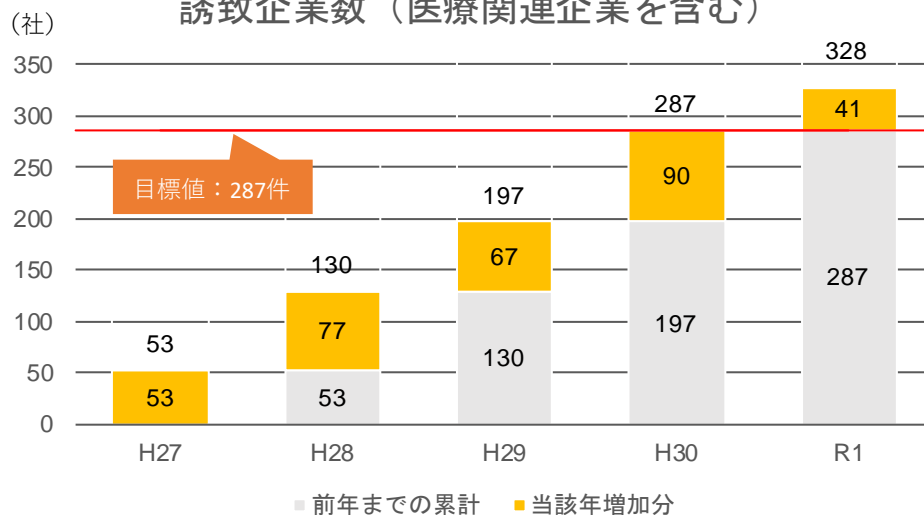
目標値(R2)

760,200人

以上

(資料) 就業構造基本調査 (H24,H29,R4予定)

誘致企業数 (医療関連企業を含む)



2. 若者を惹きつける魅力づくり

主な取組

■ 移住・定住の促進

- ・ 移住体験・移住セミナー等を通じた移住・定住の促進
- ・ 「KOBE live+work」を核としたプロモーション活動の実施
- ・ 移住や都市と農村との交流の推進

■ 大学生をターゲットとした市内定着の促進

- ・ 外国人留学生のための就職説明会の実施
- ・ 市内企業の認知度向上に向けた取組

■ 住民サービスの利便性向上

- ・ 兵庫県との合同庁舎の開設（新長田）

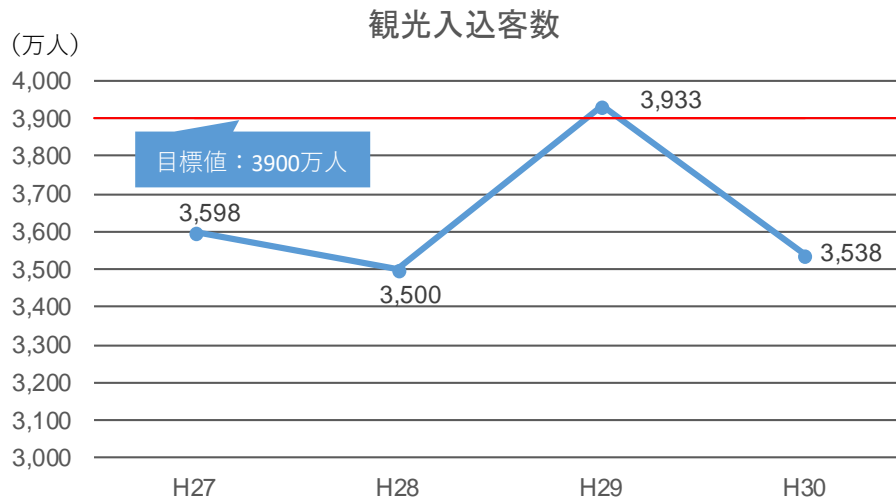
■ 若者を惹きつける都市の魅力づくり

- ・ 訴求力の高いエリアの振興に向けたビジョンの提示と具体的な取組の推進（三宮周辺地区の「再整備基本構想」の推進、メリケンパーク・須磨海岸をはじめとするウォーターフロントの再整備、六甲・摩耶観光の振興、神戸空港等市内各所へのストリートピアノの設置など）



主なKPI・指標

- ・観光客については、目標値の3900万人を突破する年もあったが、コロナ禍の影響もあり、当面厳しい状況が続くと見込まれる。
- ・新長田駅南の再開発が進んでおり、今後の昼間人口の増加が期待される。



新長田駅南再開発エリアの 昼間人口

実績値(H27)
3,499人

目標値(R2)
4,500人

(資料) 経済センサス基礎調査



3. 若い世代の結婚・出産・子育て・教育を優先できる社会システムづくり

主な取組

■ 妊娠・出産・子育てに切れ目のない支援

- ・ 妊婦健康診査に対する公費助成、産後ケア事業の実施（KOBE子育て応援団「ママフレ」など）
- ・ 子育て世帯への経済的支援の拡充
- ・ 待機児童の解消・学童保育の拡充

■ 教育環境の充実

- ・ 学習支援ツールの全義務教育学校等への導入
- ・ 学校園施設の大規模な老朽改修の実施

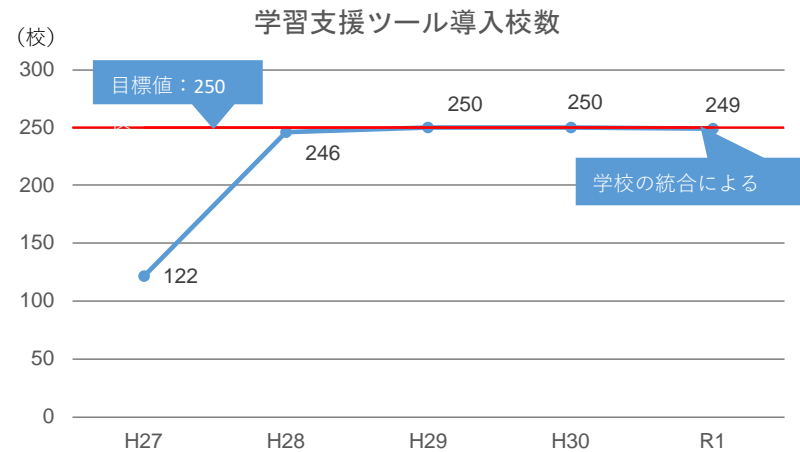
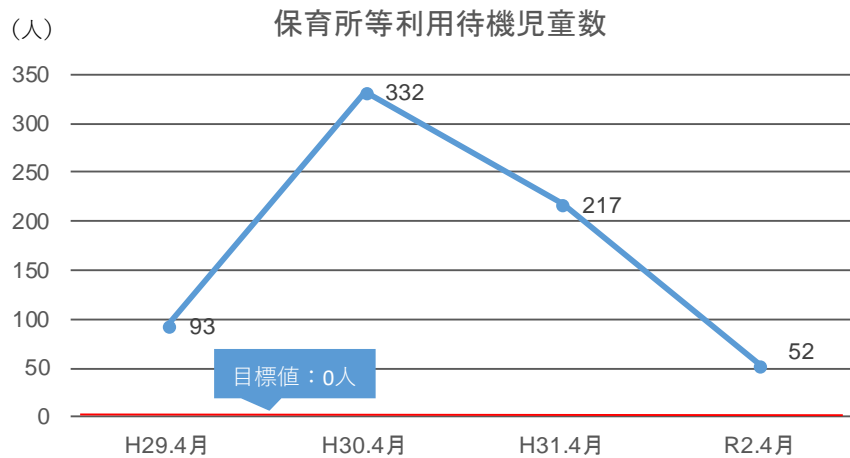
■ 働き方改革の推進

- ・ 企業の働き方改革推進支援や、女性の就職・再就職支援（企業向けのテレワークの導入支援など）



主なKPI・指標

- ・ 保育所等利用待機児童は、一時300人を超えていたが、順調に減少している。
- ・ インターネットを活用した学習支援ツールについては、全小・中・義務教育学校、特別支援学校等で導入された。



4. 次世代の将来を約束できる環境づくり

主な取組

■ 公共交通の利用環境の充実

- ・ 北神急行線の市営化に伴う運賃の大幅値下げ
- ・ コミュニティバス・タクシー等の運行への支援
- ・ 駅前の自転車利用環境の整備

■ 陸・海・空の交通基盤の充実

- ・ 広域幹線道路の整備の進展
(大阪湾岸道路西伸部(阪神高速湾岸線)の起工など)
- ・ 神戸空港の発着便・就航都市の増加が実現
- ・ 神戸港のコンテナ取扱個数が過去最高を更新(平成30年)

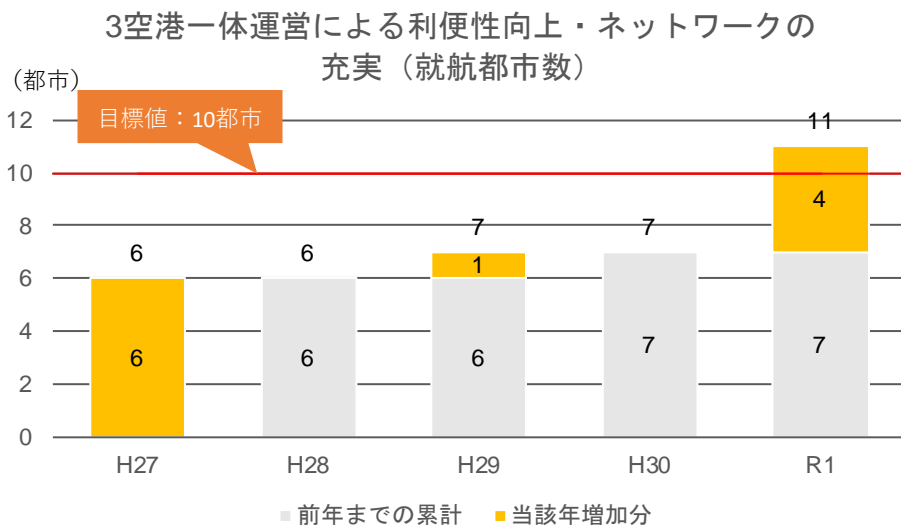
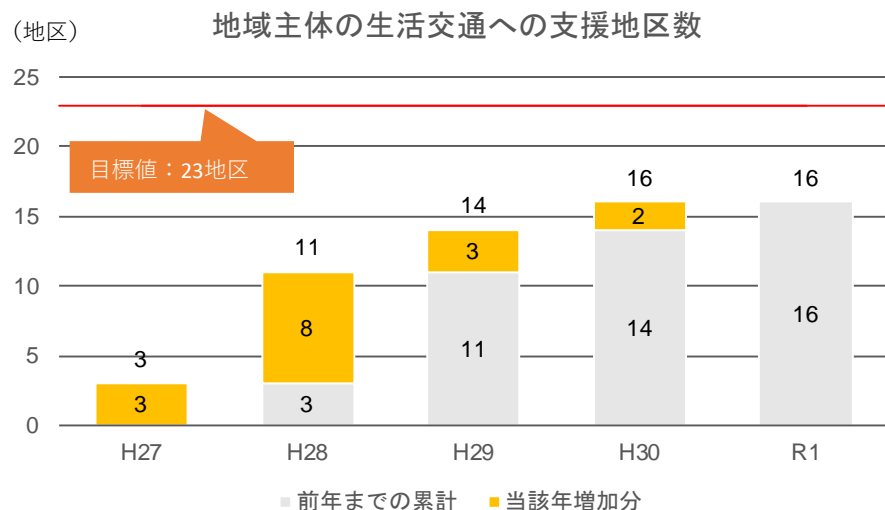
■ 環境にやさしい持続可能なまちづくりの推進

- ・ 食品ロスの削減を通じたごみの減量
(神戸市食品ロス削減協力店制度「goodbye food loss,KOBE」)
- ・ 公民連携での水素エネルギー利活用拡大の取り組みの推進



主なKPI・指標

- ・ 地域主体で生活交通を維持していこうという動きが広がっている。
- ・ 3空港一体運営、運用時間の延長等に伴い、神戸空港の就航都市数が増加した。



5. 安心なくらしづくり

主な取組

■ 魅力ある居住環境の形成

- ・ リノベーション・神戸
- ・ 「神戸里山暮らし」の推進
- ・ 市街地西部地域（地下鉄海岸線沿線）の活性化

■ 神戸における国土強靱化の推進

- ・ 総合的な防災対策と神戸における国土強靱化の推進
（河川等の土砂災害対策、浸水対策（妙法寺川・伊川・櫛谷川の改修）、地震・津波対策（緊急輸送路に架かる橋梁の耐震補強）、大規模多様化する自然災害に対応できる消防・救急体制の構築（庁舎の自立機能を強化した須磨消防署の建設）など）

■ 「健康創造都市KOBЕ」の推進と地域福祉の充実

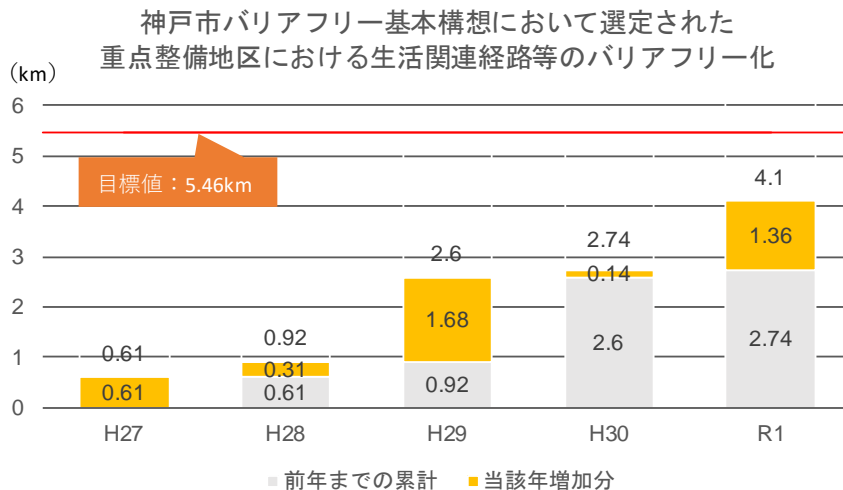
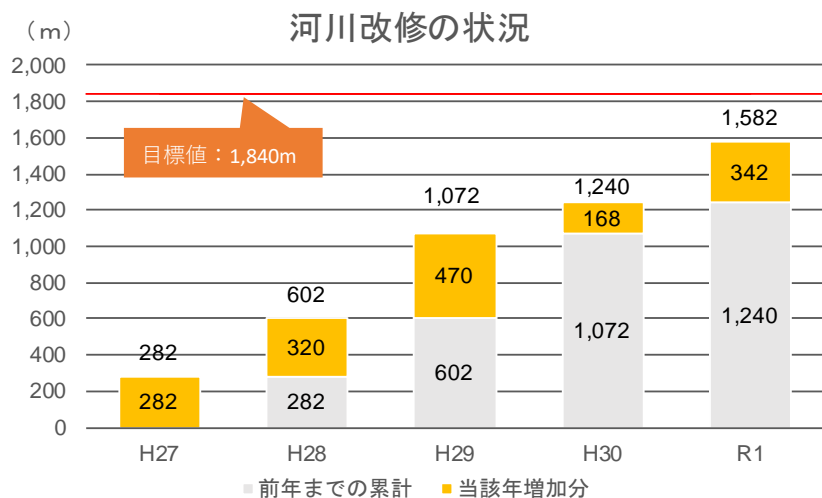
- ・ 後期高齢者の増加に対応した地域福祉の充実への取組
（健康サポートアプリ「MY CONDITION KOBЕ」、認知症神戸モデルなど）

■ 安全・安心な地域づくり

- ・ 空き家対策、住宅セーフティネットの整備、貧困の連鎖防止
- ・ 公共空間のバリアフリー化推進

主なKPI・指標

- ・ 土砂災害対策・浸水対策が必要な河川の改修は順調に進行している。
- ・ 神戸市バリアフリー基本構想において選定された重点整備地区における生活関連経路等のバリアフリー化が進んでいる。



6. 地域と地域の連携づくり

主な取組

■ 顔の見える地域社会づくり

- ・ 地域におけるコミュニティ活動を通じた、地域課題解決の支援
- ・ ソーシャルビジネスを行う事業者や起業家への助成

■ 区役所改革の推進

- ・ モデル実施の検証を踏まえた、総合窓口のさらなる展開（長田区、北区、垂水区）
- ・ 新たな総合庁舎の建設に向けた動きの進展（兵庫区、北区は完成済）

■ 他自治体との連携

- ・ 周辺自治体との連携の推進
（図書館の相互利用、水道の安定供給に向けた取組など）
- ・ 兵庫県との連携の実現（新長田合同庁舎の供用）（再掲）
- ・ 淡路島内3市（洲本市、南あわじ市、淡路市）との連携・協力に関する協定を締結



主なKPI・指標

- ・ 県及び近隣市町との連携による取組件数は順調に増加している。

